

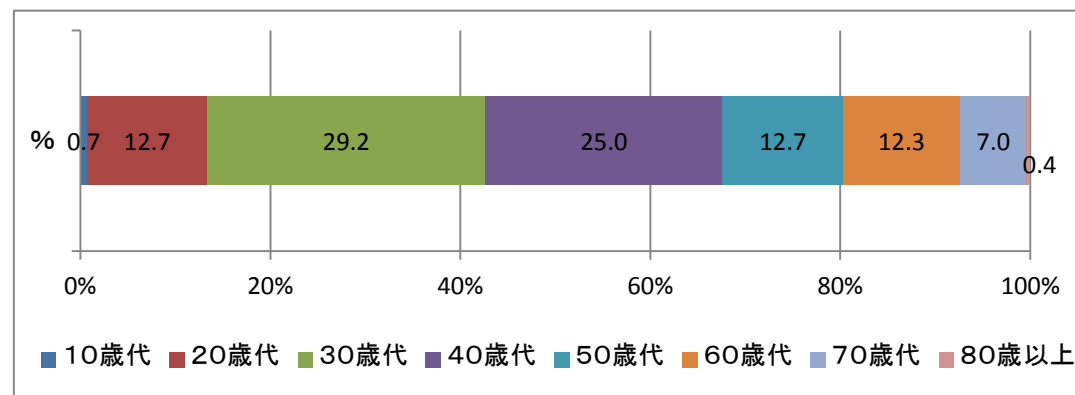
## 「がん検診等、がんに関する意識について」の調査結果

□ 調査期間 平成25年5月1日～平成25年5月14日

□ 調査の趣旨 和歌山市では毎年1,000人以上の方が「がん」で亡くなられ、その数は年々増加しています。がんの多くは、早期発見し適切な治療を行えば治る確率が高いため、早期発見に有効ながん検診を受診することが重要です。がん検診の受診率向上の推進を図るため、がん検診等に対する皆様のご意向をお聞きしました。

□ 対象者数 284（平成25年5月1日現在）

(内訳)	人数	%
10歳代	2	0.7
20歳代	36	12.7
30歳代	83	29.2
40歳代	71	25.0
50歳代	36	12.7
60歳代	35	12.3
70歳代	20	7.0
80歳以上	1	0.4
合計	284	100.0

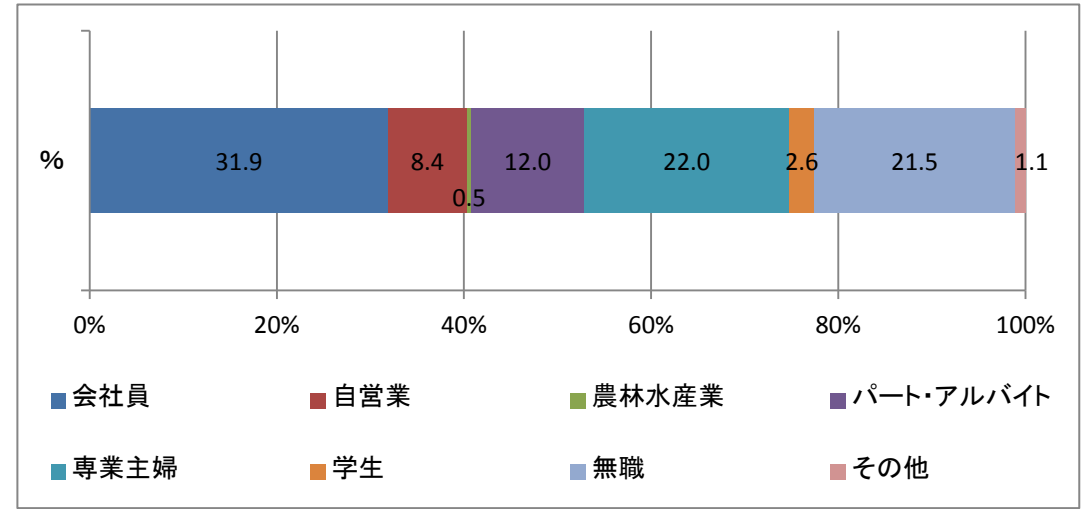


□ 回答者数 191

□ 回答率 67.3 %（平成25年5月14日時点）

【ご職業】

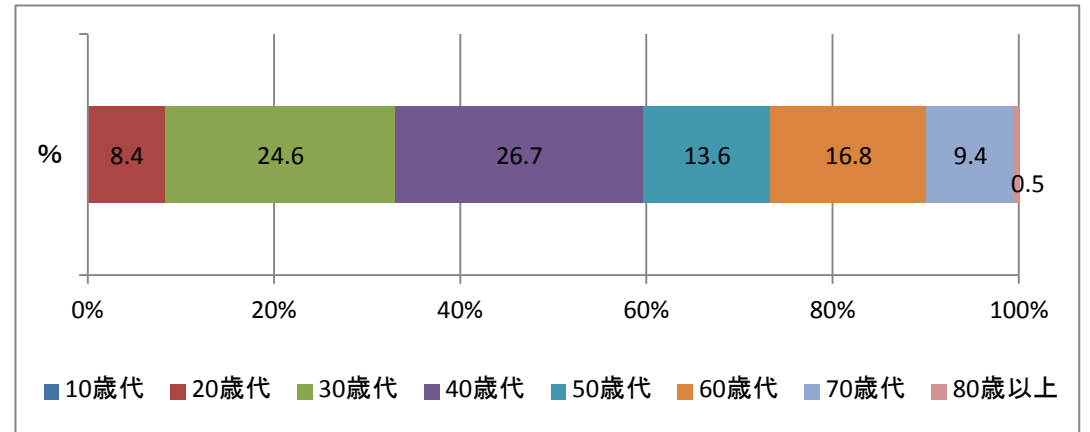
回答	回答数	%
会社員	61	31.9
自営業	16	8.4
農林水産業	1	0.5
パート・アルバイト	23	12.0
専業主婦	42	22.0
学生	5	2.6
無職	41	21.5
その他	2	1.1
合計	191	100.0



その他の職業  
・フリーランス

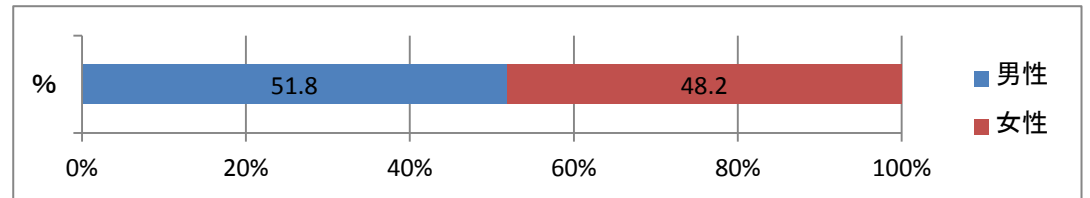
【年齢】

回答	回答数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	16	8.4
30歳代	47	24.6
40歳代	51	26.7
50歳代	26	13.6
60歳代	32	16.8
70歳代	18	9.4
80歳以上	1	0.5
合計	191	100.0



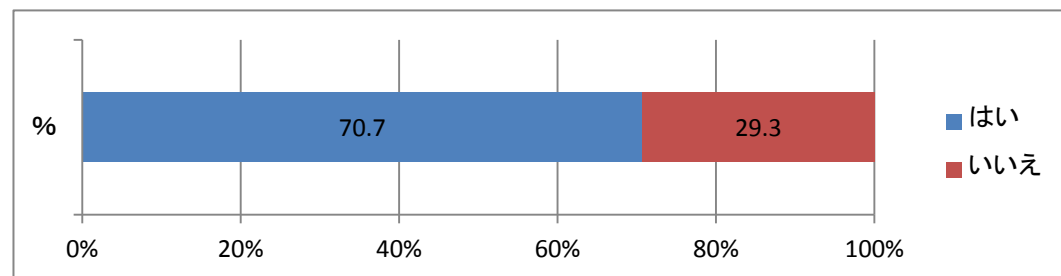
【性別】

回答	回答数	%
男性	99	51.8
女性	92	48.2
合計	191	100.0



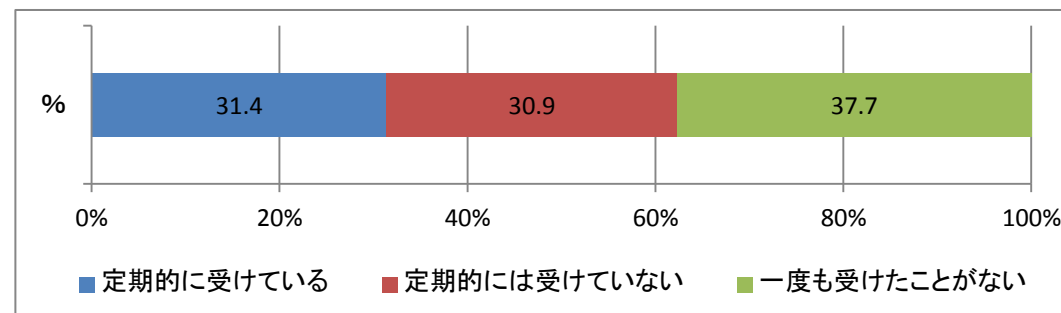
問1 和歌山市が実施しているがん検診の制度を知っていますか。

回答	回答数	%
はい	135	70.7
いいえ	56	29.3
合計	191	100.0



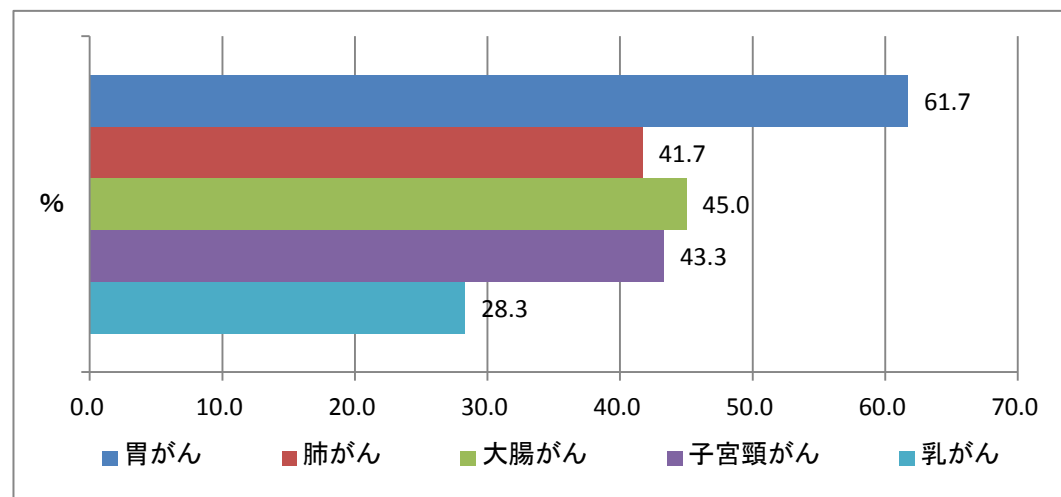
問2 定期的ながん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんのいずれか)を受けていますか。

回答	回答数	%
定期的を受けている	60	31.4
定期的には受けていない	59	30.9
一度も受けたことがない	72	37.7
合計	191	100.0



問2-1 「定期的を受けている」と回答された方にお聞きします。定期的にどの検診を受けていますか。  
(N=60,複数回答)

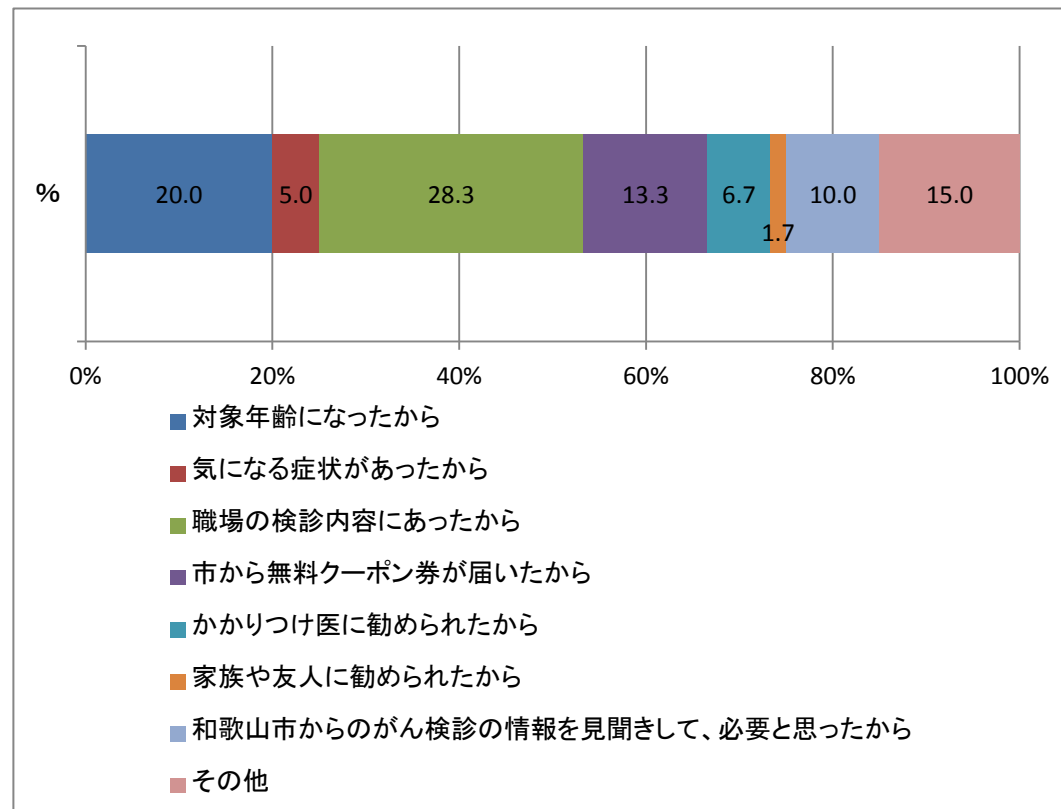
回答	回答数	%
胃がん	37	61.7
肺がん	25	41.7
大腸がん	27	45.0
子宮頸がん	26	43.3
乳がん	17	28.3



問2-2 定期的に受診するきっかけとなった理由は何ですか。(N=60)

回答	回答数	%
対象年齢になったから	12	20.0
気になる症状があったから	3	5.0
職場の検診内容にあったから	17	28.3
市から無料クーポン券が届いたから	8	13.3
かかりつけ医に勧められたから	4	6.7
家族や友人に勧められたから	1	1.7
和歌山市からのがん検診の情報を見聞きして、必要と思ったから	6	10.0
その他	9	15.0
合計	60	100.0

※胃がん・肺がん・大腸がん・乳がんのがん検診の対象年齢は40歳、  
子宮頸がんのがん検診の対象年齢は20歳

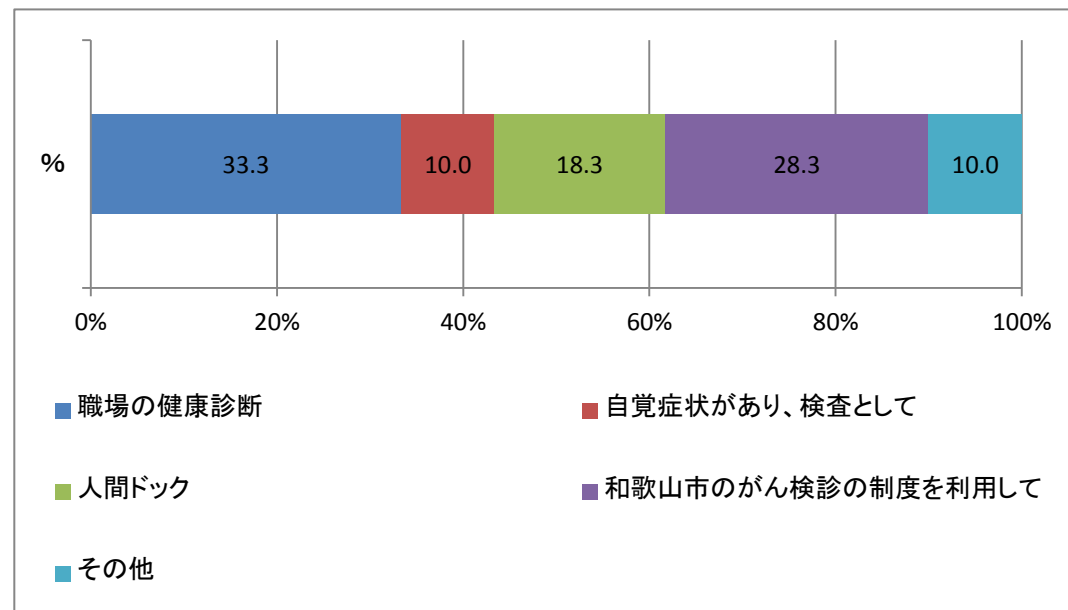


問2-2-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

- ・毎年受診している健康診断の必須項目であるから。
- ・特定検診で肺がんのみ追加受診。
- ・がんに罹患した経験があるから。
- ・妊婦のため。
- ・健康管理は大事なことと思うから。
- ・配偶者の会社の家族検診があるため。
- ・人間ドックに含まれていたから。

問2-3 受診したがん検診は、次のどれに該当しますか。(N=60)

回答	回答数	%
職場の健康診断	20	33.3
自覚症状があり、検査として	6	10.0
人間ドック	11	18.3
和歌山市のがん検診の制度を利用して	17	28.3
その他	6	10.0
合計	60	99.9

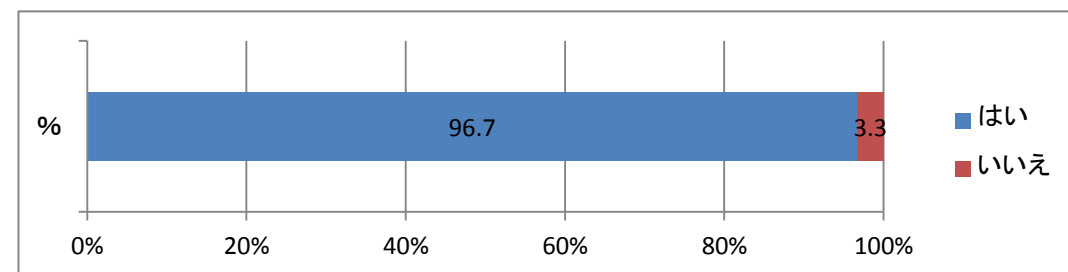


問2-3-1 「その他」とご記入された方は、詳しくご記入ください。

- ・元勤務していた会社からの毎年あるOB健康診断
- ・特定検診
- ・専門医院で年一回 がん検診を受けている。
- ・妊婦健診で実施。
- ・自覚症状はないが検査として。
- ・別の症状で受診した際、主治医の勧めで。

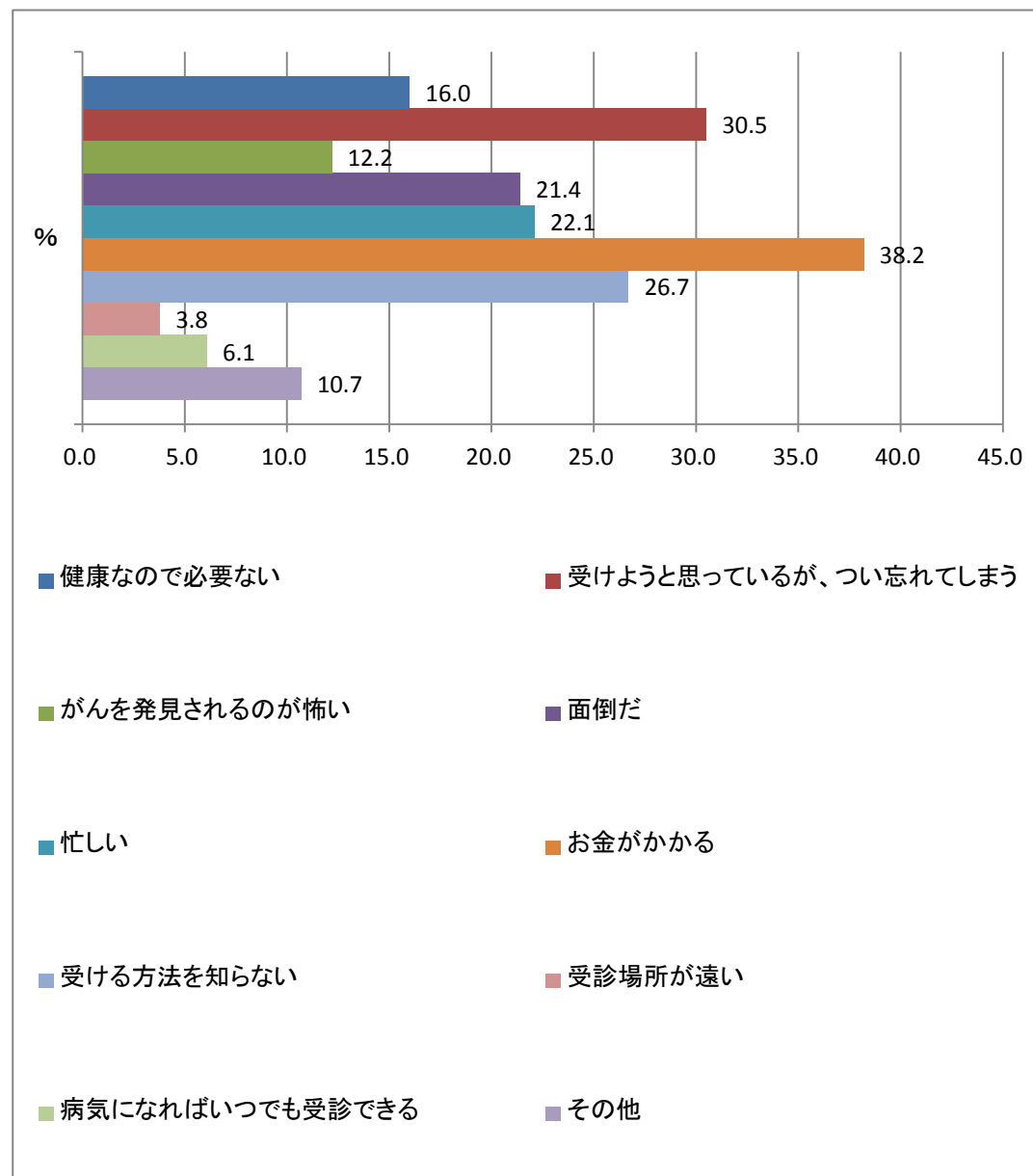
問2-4 現在、受診していない種類のがん検診も含め、今後も定期的になん検診を受けようと思いますか。(N=60)

回答	回答数	%
はい	58	96.7
いいえ	2	3.3
合計	60	100.0



問2-a 「定期的には受けていない」「一度も受けたことがない」と回答された方にお聞きします。その理由は何ですか。(N=131, 複数回答)

回答	回答数	%
健康なので必要ない	21	16.0
受けようと思っているが、つい忘れてしまう	40	30.5
がんを発見されるのが怖い	16	12.2
面倒だ	28	21.4
忙しい	29	22.1
お金がかかる	50	38.2
受ける方法を知らない	35	26.7
受診場所が遠い	5	3.8
病気になればいつでも受診できる	8	6.1
その他	14	10.7

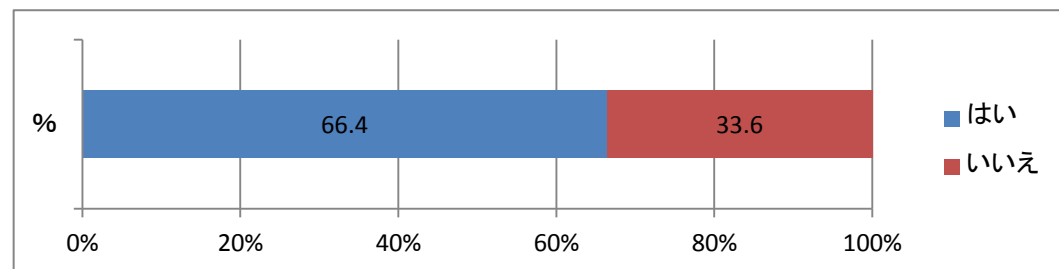


問2-a-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

- ・子宮頸がんについては、妊娠出産時の検診で受けているので重ねて定期健診を受ける必要がない。
- ・妊娠、授乳中で受けられなかったから。また、子どもが小さいため、預ける人がいなければ受けづらい。
- ・何も症状がないので、病院に行きにくい。病院が混んでるのに、元気な人が行くのは申し訳なく思ってしまう。費用がかかりすぎるイメージがある。
- ・検診では少しの疑いでも引っ掛けて多めに再検査させるが、再検査までの期間と結果がでるまで時間結果が気になって余計なストレスになる。取り越し苦労になることも多いのに、余計なストレスを抱え込むぐらいなら、心穏やかに楽しく免疫力をアップできるような生活を日々心がけた方がずっとガン予防のためにはいいと考えているから。
- ・会社での健康診断を受けているので、特に別の検診を受けてない。
- ・検診により体に負担がかかるものや、癌には、自然に消えてしまうもの、すぐに治療しなくても死亡原因にならないものも、あるため。
- ・すでに癌です。
- ・人間ドックを受診しているから。
- ・定期的ではないが、胃の調子が悪くなった時に受けている。
- ・バリウムが苦手。
- ・対象年齢外のため。

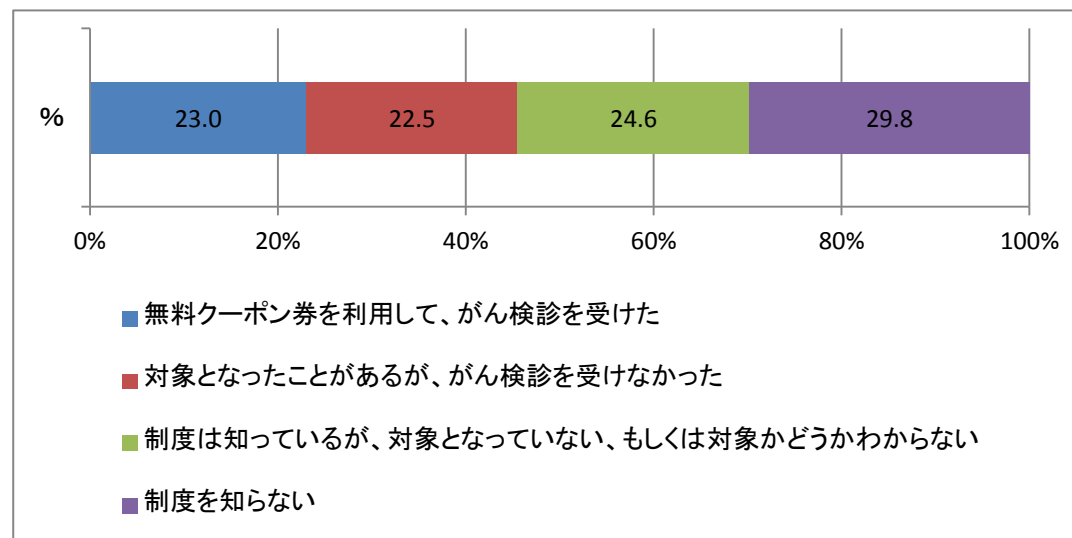
問2-b 今後、がん検診を定期的に受けようと思いますか。(N=131)

回答	回答数	%
はい	87	66.4
いいえ	44	33.6
合計	131	100.0



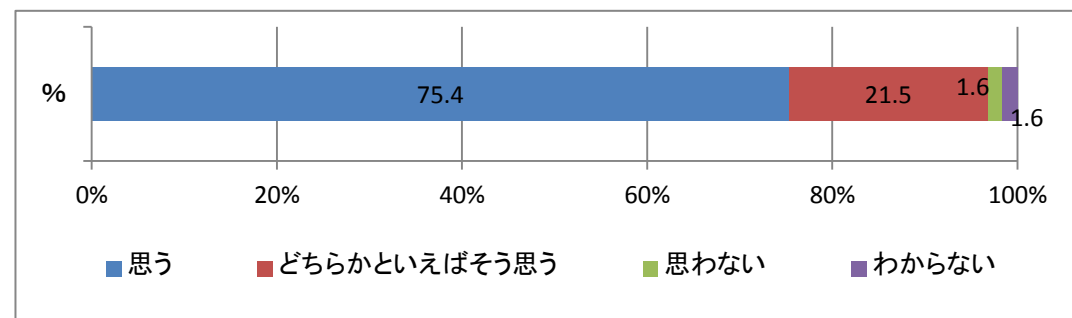
問3 国の制度で、特定の年齢に達した方に検診費用が無料となるがん検診無料クーポン券を送付する事業がありますが、知っていますか。  
(和歌山市では、6月頃に送付しています。)

回答	回答数	%
無料クーポン券を利用して、がん検診を受けた	44	23.0
対象となったことがあるが、がん検診を受けなかった	43	22.5
制度は知っているが、対象となっていない、もしくは対象かどうかわからない	47	24.6
制度を知らない	57	29.8
合計	191	99.9



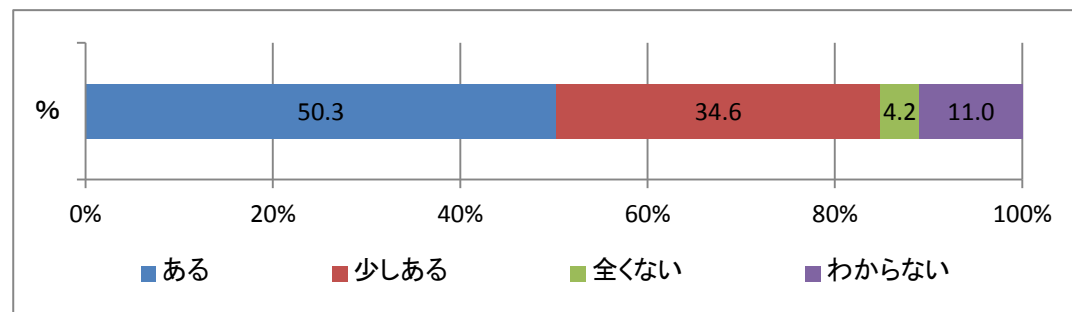
問4 がんの早期発見・早期治療には、がん検診を受けることが重要だと思いますか。

回答	回答数	%
思う	144	75.4
どちらかといえばそう思う	41	21.5
思わない	3	1.6
わからない	3	1.6
合計	191	100.1



問5 将来、がんにかかるのではないかと不安はありますか。

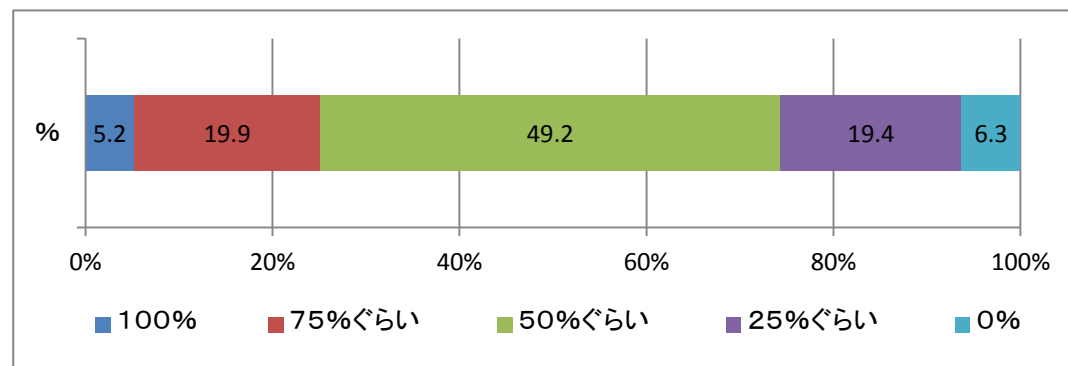
回答	回答数	%
ある	96	50.3
少しある	66	34.6
全くない	8	4.2
わからない	21	11.0
合計	191	100.1





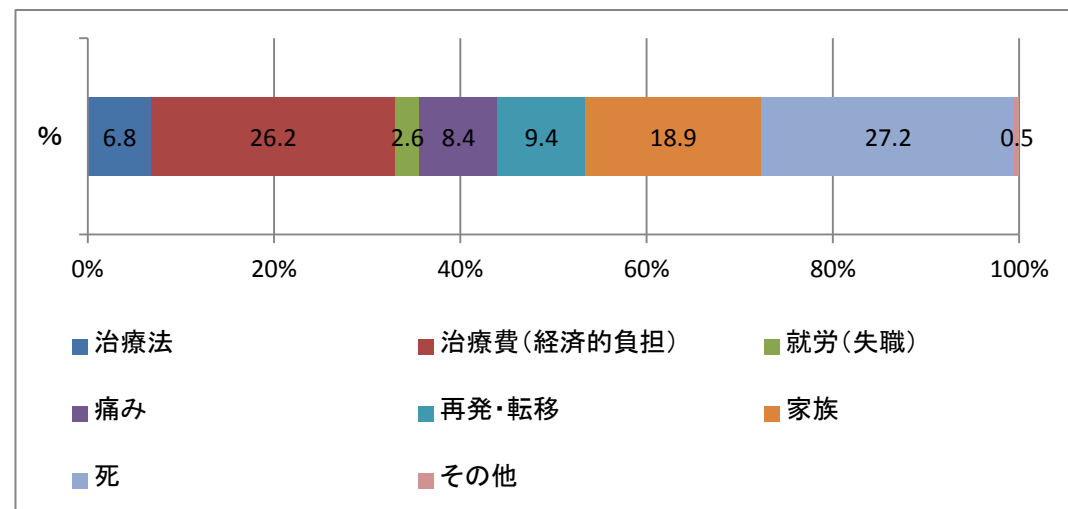
問6 あなた自身が、がんにかかる確率は何パーセントぐらいだと思いますか。

回答	回答数	%
100%	10	5.2
75%ぐらい	38	19.9
50%ぐらい	94	49.2
25%ぐらい	37	19.4
0%	12	6.3
合計	191	100.0



問7 がんと聞いて、最初に何を心配しますか。

回答	回答数	%
治療法	13	6.8
治療費(経済的負担)	50	26.2
就労(失職)	5	2.6
痛み	16	8.4
再発・転移	18	9.4
家族	36	18.9
死	52	27.2
その他	1	0.5
合計	191	100.0

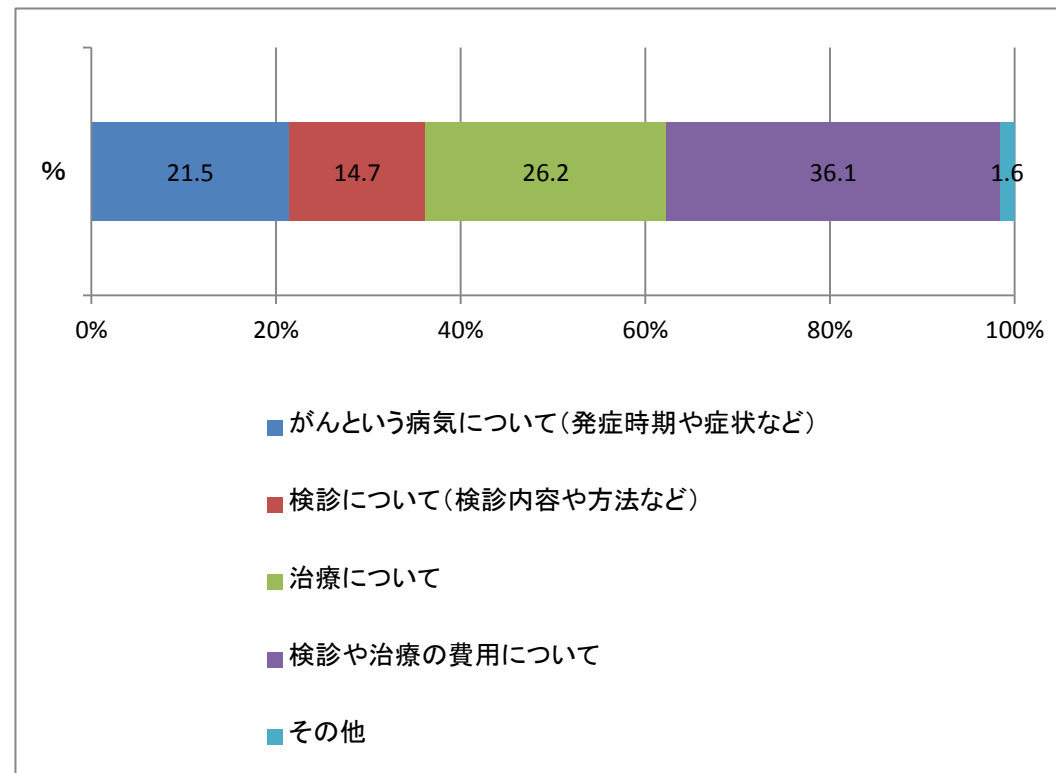


問7-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

・入院、通院に時間がとられてしまう。

問8 がんについて最も知りたいことは何ですか。

回答	回答数	%
がんという病気について(発症時期や症状など)	41	21.5
検診について(検診内容や方法など)	28	14.7
治療について	50	26.2
検診や治療の費用について	69	36.1
その他	3	1.6
合計	191	100.1



問9 がん検診が、「こうであれば受けやすい」と思う点についてお聞かせください。  
主な意見を掲載しています(個人情報や固有名詞を除いて、原文に近い文章で掲載しています。)

- ・検診を受ける際に子どもの託児サービスがあれば、もっと受けやすくなると思います。
- ・予約なしでも受診可能な検診、なおかつ医師、検査技師が全員女性であれば、受診しようと考えて足を運ぶ人が結果的に増えるはず。
- ・無料クーポン、定額クーポン等毎年送付して欲しい。受けられる病院、金額、予約できるかどうか等詳しい情報が欲しい。
- ・がん検診のクーポン券があることを知り、こういう制度があれば受けやすいと思いました。人間ドックのように、色んな病気を1日でまとめて検査できる制度をお金かけずにできたら理想です。病気の人に迷惑かけないように、検診専門の診察時間、機関などがあって、それが知れわたり、誰でも検診が受けれたらいいと思います。赤ちゃんの予防接種のスケジュール表のように、何歳と何歳で乳がん検診を受けて、何歳で胃がん検診があつて...と必要な検診がスケジュール表になったものがあれば、「今年50歳やから、〇〇検診受ける年やな!!」と意識持つと思うし、母子手帳のように、受けた病院、検診の結果が書ける、全員配られるおそろいの手帳があれば便利です。
- ・情報をもっとたくさん知らせる必要があります。また、わかりやすく宣伝してほしい。
- ・必ず受ける義務があれば、忙しい夫も行ってくれると思います。
- ・気軽に安く検診しやすければよい。
- ・胃がん、肺がんも無料検診対象にして欲しい。
- ・全ての検診対象(大腸、胃、等)を一緒にしてもらえれば世話が無い。
- ・胃や大腸は内視鏡検査が必要です。年齢を決め制度的な検査が必要だと思います。
- ・定期的に企業の義務にすればよい。
- ・保健所で一通りの検診が一度に受けることができると受診しやすいと思います。
- ・検診を受けない人の場合忙しく休めないことが多い。検診による時間を公休扱いにするとかの法的バックアップがあれば受信率が上がるかも。
- ・がん検診の促進より、ガンにならないための食事指導・生活指導や啓発の方に力をいれるべきだと思います。
- ・検診を受けると市の施設の割引などがあるなど、何か特典があると受診者が増えるかも。
- ・こういう症状の方は要注意、という形でイエローゾーンの人の検診をうながすこと。たとえば最近では若年層の癌が多いことなど。
- ・健康診断やドックの際、がん検診についてセットになっているとよい。一昨年ドックを受診したが、がん検診については特に説明や勧めはなかった。
- ・案内やしおりが届けばわかりやすいと思います。
- ・同世代のお試しモニター隊のような方が、検査を受けている様子の写真や感想をニュース和歌山に載せてくれたら、こんな感じなら受けてみようかなと思う。
- ・新聞の折込チラシ等に広告を入れてほしい。
- ・検査そのものが苦痛を伴うので血液検査等の簡素化また短時間で行われると嬉しい。クーポンの対象を広げてほしい。
- ・早期発見が大事と思うし、健診を受けるかどうかは本人次第。何歳であっても無料に近い安価で受けれたら受診者も増えると思う。なかなか自覚症状がでるまで病院に行かないのではないのでしょうか？ましてや、健診費用が高ければなおさらです。
- ・がん検診の対象年齢がもう少し下がってれば絶対に受けています。無料でなくてもよいので、若くても受けれる制度を導入してほしいです。
- ・無料クーポンを期限無く使用出来たらいいと思う。
- ・公的な強制受診も検討ありかと思います。
- ・登録すれば、対象者にメールで連絡がもらえる。
- ・受診の場所を増やしたり、回数を増やしてほしい。

- ・知らない病院を探して、前もって、予約してまで？と思ってしまう。
- ・以前受診したのが保健所でしたが一般の病院で対象者はいつでも受診できるのであれば便利でいいのですが。
- ・クーポン発行の際、大きな文字でイラストなどを使用して簡潔に内容や段取りをまとめたパンフレットなども同封されていると、より興味を惹くのではないかと思います。受診の方法を、「自宅にクーポンが届く」→「病院を選ぶ」→「問診票を記載」→「指定病院へ行って受付にクーポンと問診票を提出」→「〇〇をお願いします」と言う→具体的な検診内容「レントゲン検査」「診察」→支払いは無料、というように簡単に段取りを教えて頂けると、面倒さや不安などが軽減すると思います。職場の健康診断などで、各ガン検診の、理想的な周期の情報も分かりやすく教えて頂き、職場の検診と自治体の検診の上手な利用方法を教えて頂けると、職場の検診と自治体の検診の時期をずらして、頻繁に検診を受けることができるのではないかと思います。
- ・今のままですごくいいと思います。しかし医師会などに徹底した指導や連絡をしないと、実際の検診機関が分かっていないことが多いと思います。
- ・40歳になり検診を考えているが市からの無料クーポンが届かないので見送っている。申請しないと届かないのでしょうか？ 土日祝日や、夜間(21時頃まで)も検診してもらえたらありがたいです。
- ・がん検診無料クーポン配布は、特定年齢だけではなく、一定年齢以上の希望者が受信できたらよい。(予算が必要ではあるが・・・。)
- ・主治医の指導の下にがん検診を受診している。
- ・抗がん物質以外での治療法の確率。高濃度ビタミンなど世界ではもっと安く安全性の高いものへの対応もある。
- ・検診の対象年齢を下げしてほしい。
- ・無料のクーポン券が配布された20歳の時は遠方の大学に進学していたので、機会を逃し無駄にした。もう少し期限が長いといいと思います。
- ・無料クーポンはありがたいので、利用したいと思う。
- ・もっと低年齢から受診したい人に補助が出る制度にしてほしいです。受けたくても費用が高いため躊躇します。
- ・がん検診専門の機関(信用の出来る最先端の医療器、技術)があれば、安心して検査を受けられると思います。
- ・若年者は積極的に受診して欲しいと思うが、65歳以上の高齢者は受診する必要は無い。
- ・配偶者の会社から一年に一度健診の資料が送られてきます。受けていない人は和歌山市の健診や、国の無料クーポンの情報自体知らない方もいらっしゃるのではないのでしょうか。各自治体・地区でもっと健診の推奨することが受けやすくなるのではと思います。
- ・強制であれば行くと思います。
- ・癌検診無料クーポンを毎年発行していただければ検診の機会が増えます。
- ・献血車のような巡回車で地区ごとに受診できれば。検査キットなど簡単に郵送などで受診できるものはそうしてほしい。
- ・痛みが有りそう、恥ずかしい。こんな思いまでして受けたくない。
- ・無料にしても受けない人があり、あとは本人の自覚が大切であると思う。通院時、医師から必要性について強く勧めてもらう。
- ・がん検診の案内を定期的に個人宛に送付して欲しい。

☆皆さまの貴重なご意見ありがとうございました。

皆さまのご意見を参考に、がんで亡くなる人を減らすため、がん検診の受診率向上を図るよう取り組んでまいります。皆さまにおかれましても、定期的にごがん検診等を受診して、健康づくりに取り組んでいただきたいと思います。